

教室・講座・イベントの成果報告

主 催 者 名	子どもサイエンスフェスティバル秦野大会			
題 名・副 題	水をつかもう			
月 日・時 間	2019 年 2 月 23 日（土） 10:00～15:00			
開 催 場 所	秦野市立 はだのこども館			
部会・講師名	水環境部会 吉村美男	参加数	約 230 名	講師数 6 名
写 真				
	つかめる水の実験開始、実験を指導		お玉でアルギン酸ナトリウムを入れる	
				
	壊れないように、ゆっくりかき回す		キレイ、手のひらに透明な水玉	
成 果 解 説	会場は1階の多目的広場。当会は、東海大学、平塚工科高等学校など5つのブースと一緒に「水をつかもう」をテーマに体験ブースを実施しました。 「水をつかむ実験」は、水をアルギン酸ナトリウムと乳酸カルシウムで反応させて水玉を作り、手で水玉をつかむ体験を行うものです。子どもたちは、乳酸カルシウムの水溶液の入ったボールの中に、アルギン酸ナトリウムをゆっくり入れて、静かにかき混ぜました。すると、アルギン酸カルシウムの水玉がうっすらと見えて「ふしぎ、ふしぎ」と言いながら、3分間混ぜた後には、自分の手で水玉をすくい上げることができました。子どもたちは水玉を両手に乗せ化学反応実験の成果に笑顔を見せ大喜びでした。この様子を見ていた保護者たちは、透明な水玉に「ワーキレイ、キレイ」との歓声を上げながら写真に収めました。 実験ブースの前には、子どもたちと保護者で行列ができたので行列の整列も行いました。午前の参加者が約120名と予想を超え、午後の参加人数が心配されたので、材料を大急ぎで追加補充して間に合えました。午後の参加者は約110名。合わせて約230名の子どもたちが、「水をつかむ」実験を体験し、水と溶剤との化学反応について体験的に理解を深めました。			